

柳井発電所2号系列リプレース計画に係る計画段階環境配慮書に対する知事意見の概要

項目	主な意見
【全体的事項】	
	<ul style="list-style-type: none"> ○本事業の必要性や位置づけ、採用する燃料種等の検討の過程について、方法書に記載すること。 ○今後の手続きでは、必要かつ十分な環境影響評価項目を選定し、適切に影響評価を行うこと。 ○地域住民等に対し、事業内容や環境保全措置等について、積極的な情報提供や丁寧な説明に努めること。 ○事業者としてカーボンニュートラルを確実に実現できるよう、新たな技術導入を検討し、導入に当たっては、環境への影響の確認、自治体等への丁寧な説明を行うこと。
【個別的事項】	
大 気 質	○窒素酸化物に対しては、最新鋭の処理施設を導入するとともに、その低減効果を踏まえた上で適切に影響評価を行うこと。
騒音・振動	○工事の実施及び施設の稼働に伴う騒音・振動について、稼働位置、騒音レベル等を把握した上で、適切に影響評価を行うこと。
水 環 境 ・ 水 生 生 物	○温排水による影響を含め、水環境や水生生物への影響について、必要に応じ適切に影響評価を行うこと。
景 観	○新設する煙突の高さ、形状、色等の検討に当たっては、周辺環境との調和に配慮すること。
温 室 効 果 ガ ス	○本事業による温室効果ガスの削減量及びカーボンニュートラル実現に向けた具体的道筋を、方法書以降に記載すること。